

|                                     |  |                                                                                                                                                                                  |        |
|-------------------------------------|--|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|
| 様式1                                 |  | 令和6年度 清瀬市立清瀬第七小学校                                                                                                                                                                | 学校評価計画 |
| 学校の教育目標                             |  | 育成を目指す資質・能力及び特色ある教育活動                                                                                                                                                            |        |
| ○健康で強い子      ○思いやりのある子      ○よく考える子 |  | 【育成を目指す資質・能力】<br>○健康で強い子…すすんで健康保持増進に努める意欲、基礎的な運動の技能、健康についての知識<br>○思いやりのある子…他者の気持ちを理解する力、共感できる力、他者との違いを認める力<br>○よく考える子…基礎的な知識・技能、情報活用能力、問題発見・解決能力、自分の思いや考えを豊かに表現する力               |        |
| 目指す学校像(ビジョン)                        |  | 5WA(輪・把・環・話・和)を力に！みんなのやる気で育つ七小                                                                                                                                                   |        |
| 【目指す学校像】                            |  | 児童が楽しく学べる学校、保護者・地域と共に児童を育てる学校、教職員が協力して主体的に働く学校                                                                                                                                   |        |
| 【目指す児童・生徒像】                         |  | 主体的に学び、互いに認め合い、支え合い、高め合う児童                                                                                                                                                       |        |
| 【目指す教師像】                            |  | 向上心を持ち、協力しながら主体的に働ける教師                                                                                                                                                           |        |
| 前年度までの学校経営上の成果と課題                   |  | 【成果】○アセスメントに基づく情報活用能力の向上    ○学校ホームページによる情報発信と閲覧の啓発    ○コミュニティスクールへ向けた地域人材、資源の活用<br>【課題】○「なりたい自分」をイメージし、主体的に学ぶ児童の育成    ○体力向上を図る体育の授業改善、取り組みの一層の充実    ○コミュニティスクールとして地域協働で人間性を育む土作り |        |

| 柱         | 中期経営目標                                           | 短期経営目標                                                                             | 具体的方策                                                                                             | 取組指標(評価基準)                                     |                                         | 成果指標(評価基準)                              |                                         |
|-----------|--------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------|-----------------------------------------|-----------------------------------------|-----------------------------------------|
| 確かな学力の向上  | 基礎的な知識・技能を身に付けさせるとともに、問題解決能力や情報活用能力を育成し、学力向上を図る。 | 「学ぶ楽しさ」「わかった、できた喜び」を再認識させるとともに、「なりたい自分」を目指す、学びに向かう力を高められるよう授業改善を図る。                | 授業研究や授業改善推進プランの作成などの取り組みを通して授業改善を行い、児童の学習に対する満足度を高める。                                             | 4 研究授業や授業改善推進プランの作成などの取組を通して授業改善を行った(全教員)      | 4 「学ぶ楽しさ」「わかった、できた喜び」を実感できた児童(90%以上)    | 4 「学ぶ楽しさ」「わかった、できた喜び」を実感できた児童(90%以上)    | 4 「学ぶ楽しさ」「わかった、できた喜び」を実感できた児童(90%以上)    |
|           |                                                  | 児童の自己理解・自己管理能力、人間関係形成・社会形成能力、課題対応能力やキャリアプランニング能力を育成する。                             | 児童の実態調査を実施し、実態に合わせてキャリア教育の視点となる4つの能力を伸ばす指導を行う。                                                    | 3 研究授業や授業改善推進プランの作成などの取組を通して授業改善を行った(教員の90%以上) | 3 「学ぶ楽しさ」「わかった、できた喜び」を実感できた児童(80%以上)    | 3 「学ぶ楽しさ」「わかった、できた喜び」を実感できた児童(80%以上)    | 3 「学ぶ楽しさ」「わかった、できた喜び」を実感できた児童(80%以上)    |
|           |                                                  |                                                                                    |                                                                                                   | 2 研究授業や授業改善推進プランの作成などの取組を通して授業改善を行った(教員の80%以上) | 2 「学ぶ楽しさ」「わかった、できた喜び」を実感できた児童(70%以上)    | 2 「学ぶ楽しさ」「わかった、できた喜び」を実感できた児童(70%以上)    | 2 「学ぶ楽しさ」「わかった、できた喜び」を実感できた児童(70%以上)    |
|           |                                                  |                                                                                    |                                                                                                   | 1 研究授業や授業改善推進プランの作成などの取組を通して授業改善を行った(教員の80%未満) | 1 「学ぶ楽しさ」「わかった、できた喜び」を実感できた児童(70%未満)    | 1 「学ぶ楽しさ」「わかった、できた喜び」を実感できた児童(70%未満)    | 1 「学ぶ楽しさ」「わかった、できた喜び」を実感できた児童(70%未満)    |
| 豊かな心の育成   | 奉仕の心や互いを認め合える集団活動を通して児童の人間性を高める。                 | 異年齢集団で活動する機会を通して、人間関係形成・社会形成能力を育成し、互いを認め合い、高めあう力を育成する。                             | 縦割り班活動や学級活動で班や集団で活動する機会を計画的に実施する。<br>児童会活動やクラブ活動で主体的に考え活動する機会を設ける                                 | 4 教職員の自己評価で、肯定的回答(100%)                        | 4 実態調査の結果でキャリア教育の4つの力の向上が認められた児童(90%以上) | 4 実態調査の結果でキャリア教育の4つの力の向上が認められた児童(90%以上) | 4 実態調査の結果でキャリア教育の4つの力の向上が認められた児童(90%以上) |
|           |                                                  |                                                                                    |                                                                                                   | 3 教職員の自己評価で、肯定的回答(90%以上100%未満)                 | 3 実態調査の結果でキャリア教育の4つの力の向上が認められた児童(80%以上) | 3 実態調査の結果でキャリア教育の4つの力の向上が認められた児童(80%以上) | 3 実態調査の結果でキャリア教育の4つの力の向上が認められた児童(80%以上) |
|           |                                                  |                                                                                    |                                                                                                   | 2 教職員の自己評価で、肯定的回答(80%以上90%未満)                  | 2 実態調査の結果でキャリア教育の4つの力の向上が認められた児童(70%以上) | 2 実態調査の結果でキャリア教育の4つの力の向上が認められた児童(70%以上) | 2 実態調査の結果でキャリア教育の4つの力の向上が認められた児童(70%以上) |
|           |                                                  |                                                                                    |                                                                                                   | 1 教職員の自己評価で、肯定的回答(80%未満)                       | 1 実態調査の結果でキャリア教育の4つの力の向上が認められた児童(70%未満) | 1 実態調査の結果でキャリア教育の4つの力の向上が認められた児童(70%未満) | 1 実態調査の結果でキャリア教育の4つの力の向上が認められた児童(70%未満) |
| 豊かな体の育成   | 体力向上や健康維持・増進に取り組む習慣を身に付けさせる。                     | 運動する楽しさを伝える教育活動を通して児童の運動への意欲と体力の向上を図る。                                             | 体育の授業だけでなく、朝や休み時間、体を動かす楽しさを伝え児童の運動への意識を高める。                                                       | 4 教職員の自己評価で、肯定的回答(90%以上100%未満)                 | 4 異年齢活動で互いを認め合うことができたと実感した児童(90%以上)     | 4 異年齢活動で互いを認め合うことができたと実感した児童(90%以上)     | 4 異年齢活動で互いを認め合うことができたと実感した児童(90%以上)     |
|           |                                                  |                                                                                    |                                                                                                   | 3 教職員の自己評価で、肯定的回答(80%以上90%未満)                  | 3 異年齢活動で互いを認め合うことができたと実感した児童(80%以上)     | 3 異年齢活動で互いを認め合うことができたと実感した児童(80%以上)     | 3 異年齢活動で互いを認め合うことができたと実感した児童(80%以上)     |
|           |                                                  |                                                                                    |                                                                                                   | 2 教職員の自己評価で、肯定的回答(80%未満)                       | 2 異年齢活動で互いを認め合うことができたと実感した児童(70%以上)     | 2 異年齢活動で互いを認め合うことができたと実感した児童(70%以上)     | 2 異年齢活動で互いを認め合うことができたと実感した児童(70%以上)     |
|           |                                                  |                                                                                    |                                                                                                   | 1 教職員の自己評価で、肯定的回答(70%未満)                       | 1 異年齢活動で互いを認め合うことができたと実感した児童(70%未満)     | 1 異年齢活動で互いを認め合うことができたと実感した児童(70%未満)     | 1 異年齢活動で互いを認め合うことができたと実感した児童(70%未満)     |
| 特別支援教育の充実 | 支援が必要な児童を早期に発見し、適切に支援する。                         | 通常学級と特別支援学級の交流教育を通して、児童の豊かな人間性を育む。<br><br>特別な支援を要する児童に対する支援の視点を明確にし、個に応じた指導の推進を図る。 | 年間計画に基づき、共同学習や交流を学期に1回以上(年3回以上)実践する。<br><br>特別支援研修会で学んだことを生かし、これまでの指導支援について検証し、それぞれのケースにあった支援を行う。 | 4 いじめ調査を年4回以上実施                                | 4 保護者の学校によるいじめ・人権に関する取り組みへの満足度(90%以上)   | 4 保護者の学校によるいじめ・人権に関する取り組みへの満足度(90%以上)   | 4 保護者の学校によるいじめ・人権に関する取り組みへの満足度(90%以上)   |
|           |                                                  |                                                                                    |                                                                                                   | 3 いじめ調査を年3回以上実施                                | 3 保護者の学校によるいじめ・人権に関する取り組みへの満足度(80%以上)   | 3 保護者の学校によるいじめ・人権に関する取り組みへの満足度(80%以上)   | 3 保護者の学校によるいじめ・人権に関する取り組みへの満足度(80%以上)   |
|           |                                                  |                                                                                    |                                                                                                   | 2 いじめ調査を年2回以上実施                                | 2 保護者の学校によるいじめ・人権に関する取り組みへの満足度(70%以上)   | 2 保護者の学校によるいじめ・人権に関する取り組みへの満足度(70%以上)   | 2 保護者の学校によるいじめ・人権に関する取り組みへの満足度(70%以上)   |
|           |                                                  |                                                                                    |                                                                                                   | 1 いじめ調査を年1回以上実施                                | 1 保護者の学校によるいじめ・人権に関する取り組みへの満足度(70%未満)   | 1 保護者の学校によるいじめ・人権に関する取り組みへの満足度(70%未満)   | 1 保護者の学校によるいじめ・人権に関する取り組みへの満足度(70%未満)   |
| 本校の特色     | 地域との連携を深め、地域に開かれた学校を実現する。                        | 健康教育を推進するとともに、食育を進め、健康的な生活を送るための習慣づくりを図る。                                          | 食事、睡眠、運動や清潔について学級指導を学期に3回以上指導を行う。                                                                 | 4 教職員の自己評価で、肯定的回答(100%)                        | 4 体力が向上していると実感できた児童(90%以上)              | 4 体力が向上していると実感できた児童(90%以上)              | 4 体力が向上していると実感できた児童(90%以上)              |
|           |                                                  |                                                                                    |                                                                                                   | 3 教職員の自己評価で、肯定的回答(90%以上100%未満)                 | 3 体力が向上していると実感できた児童(80%以上)              | 3 体力が向上していると実感できた児童(80%以上)              | 3 体力が向上していると実感できた児童(80%以上)              |
|           |                                                  |                                                                                    |                                                                                                   | 2 教職員の自己評価で、肯定的回答(80%以上90%未満)                  | 2 体力が向上していると実感できた児童(70%以上)              | 2 体力が向上していると実感できた児童(70%以上)              | 2 体力が向上していると実感できた児童(70%以上)              |
|           |                                                  |                                                                                    |                                                                                                   | 1 教職員の自己評価で、肯定的回答(80%未満)                       | 1 体力が向上していると実感できた児童(70%未満)              | 1 体力が向上していると実感できた児童(70%未満)              | 1 体力が向上していると実感できた児童(70%未満)              |
|           |                                                  | 地域・保護者の教育的資源を積極的に活用し地域の中の学校づくりを目指す。                                                | 学校支援本部との連携を図り、地域や保護者の人材活用を積極的に行う。                                                                 | 4 食事や健康について意識的に気をつけている児童(90%以上)                | 4 食事や健康について意識的に気をつけている児童(90%以上)         | 4 食事や健康について意識的に気をつけている児童(90%以上)         | 4 食事や健康について意識的に気をつけている児童(90%以上)         |
|           |                                                  |                                                                                    |                                                                                                   | 3 教職員の自己評価で、肯定的回答(90%以上100%未満)                 | 3 食事や健康について意識的に気をつけている児童(80%以上)         | 3 食事や健康について意識的に気をつけている児童(80%以上)         | 3 食事や健康について意識的に気をつけている児童(80%以上)         |
|           |                                                  |                                                                                    |                                                                                                   | 2 教職員の自己評価で、肯定的回答(80%以上90%未満)                  | 2 食事や健康について意識的に気をつけている児童(70%以上)         | 2 食事や健康について意識的に気をつけている児童(70%以上)         | 2 食事や健康について意識的に気をつけている児童(70%以上)         |
|           |                                                  |                                                                                    |                                                                                                   | 1 教職員の自己評価で、肯定的回答(80%未満)                       | 1 食事や健康について意識的に気をつけている児童(70%未満)         | 1 食事や健康について意識的に気をつけている児童(70%未満)         | 1 食事や健康について意識的に気をつけている児童(70%未満)         |
|           |                                                  | 学校情報を地域・保護者に積極的に発信する。                                                              | ホームページの充実を行うために、休業日以外にできるだけ毎日更新を行う。                                                               | 4 3回以上実施した学年の割合(90%以上)                         | 4 交流及び共同学習に対する児童の満足度A(90%以上)            | 4 交流及び共同学習に対する児童の満足度A(90%以上)            | 4 交流及び共同学習に対する児童の満足度A(90%以上)            |
|           |                                                  |                                                                                    |                                                                                                   | 3 3回以上実施した学年の割合(80%以上)                         | 3 交流及び共同学習に対する児童の満足度A(80%以上)            | 3 交流及び共同学習に対する児童の満足度A(80%以上)            | 3 交流及び共同学習に対する児童の満足度A(80%以上)            |
|           |                                                  |                                                                                    |                                                                                                   | 2 3回以上実施した学年の割合(70%以上)                         | 2 交流及び共同学習に対する児童の満足度A(70%以上)            | 2 交流及び共同学習に対する児童の満足度A(70%以上)            | 2 交流及び共同学習に対する児童の満足度A(70%以上)            |
|           |                                                  |                                                                                    |                                                                                                   | 1 3回以上実施した学年の割合(70%未満)                         | 1 交流及び共同学習に対する児童の満足度A(70%未満)            | 1 交流及び共同学習に対する児童の満足度A(70%未満)            | 1 交流及び共同学習に対する児童の満足度A(70%未満)            |
|           |                                                  | 地域・保護者の教育的資源を積極的に活用し地域の中の学校づくりを目指す。                                                | 学校支援本部との連携を図り、地域や保護者の人材活用を積極的に行う。                                                                 | 4 教職員の自己評価で、肯定的回答(100%)                        | 4 保護者の特別支援に対する肯定的評価(90%以上)              | 4 保護者の特別支援に対する肯定的評価(90%以上)              | 4 保護者の特別支援に対する肯定的評価(90%以上)              |
|           |                                                  |                                                                                    |                                                                                                   | 3 教職員の自己評価で、肯定的回答(90%以上100%未満)                 | 3 保護者の特別支援に対する肯定的評価(80%以上)              | 3 保護者の特別支援に対する肯定的評価(80%以上)              | 3 保護者の特別支援に対する肯定的評価(80%以上)              |
|           |                                                  |                                                                                    |                                                                                                   | 2 教職員の自己評価で、肯定的回答(80%以上90%未満)                  | 2 保護者の特別支援に対する肯定的評価(70%以上)              | 2 保護者の特別支援に対する肯定的評価(70%以上)              | 2 保護者の特別支援に対する肯定的評価(70%以上)              |
|           |                                                  |                                                                                    |                                                                                                   | 1 教職員の自己評価で、肯定的回答(80%未満)                       | 1 保護者の特別支援に対する肯定的評価(70%未満)              | 1 保護者の特別支援に対する肯定的評価(70%未満)              | 1 保護者の特別支援に対する肯定的評価(70%未満)              |
|           |                                                  | 学校情報を地域・保護者に積極的に発信する。                                                              | ホームページの充実を行うために、休業日以外にできるだけ毎日更新を行う。                                                               | 4 全学年で、地域の人材を活用                                | 4 児童の満足度の評価A(児童の90%以上)                  | 4 児童の満足度の評価A(児童の90%以上)                  | 4 児童の満足度の評価A(児童の90%以上)                  |
|           |                                                  |                                                                                    |                                                                                                   | 3 3分の2以上の学年で、地域の人材を活用                          | 3 児童の満足度の評価A(児童の80%以上90%未満)             | 3 児童の満足度の評価A(児童の80%以上90%未満)             | 3 児童の満足度の評価A(児童の80%以上90%未満)             |
|           |                                                  |                                                                                    |                                                                                                   | 2 3分の1以上の学年で、地域の人材を活用                          | 2 児童の満足度の評価A(児童の70%以上80%未満)             | 2 児童の満足度の評価A(児童の70%以上80%未満)             | 2 児童の満足度の評価A(児童の70%以上80%未満)             |
|           |                                                  |                                                                                    |                                                                                                   | 1 地域の人材の活用が未実施                                 | 1 児童の満足度の評価A(児童の70%未満)                  | 1 児童の満足度の評価A(児童の70%未満)                  | 1 児童の満足度の評価A(児童の70%未満)                  |
|           |                                                  | 学校情報を地域・保護者に積極的に発信する。                                                              | ホームページの充実を行うために、休業日以外にできるだけ毎日更新を行う。                                                               | 4 更新が年間208回以上                                  | 4 保護者の情報発信に対しての肯定的評価(90%以上)             | 4 保護者の情報発信に対しての肯定的評価(90%以上)             | 4 保護者の情報発信に対しての肯定的評価(90%以上)             |
|           |                                                  |                                                                                    |                                                                                                   | 3 更新が年間190回以上                                  | 3 保護者の情報発信に対しての肯定的評価(80%以上)             | 3 保護者の情報発信に対しての肯定的評価(80%以上)             | 3 保護者の情報発信に対しての肯定的評価(80%以上)             |
|           |                                                  |                                                                                    |                                                                                                   | 2 更新が年間180回以上                                  | 2 保護者の情報発信に対しての肯定的評価(70%以上)             | 2 保護者の情報発信に対しての肯定的評価(70%以上)             | 2 保護者の情報発信に対しての肯定的評価(70%以上)             |
|           |                                                  |                                                                                    |                                                                                                   | 1 更新が年間180回未満                                  | 1 保護者の情報発信に対しての肯定的評価(70%未満)             | 1 保護者の情報発信に対しての肯定的評価(70%未満)             | 1 保護者の情報発信に対しての肯定的評価(70%未満)             |